



スウェーデン・ヨテボリ大学

教育学研究科修士課程

特別支援教育専攻 発達障害コース

白石 健人

留学開始時の学年：修士課程 2 年

留学期間：2016 年 3 月～2017 年 1 月

ヨテボリ大学へ

ヨテボリ大学は、スウェーデン国内において 3 番目に古い大学で、その規模や学生数ともに北欧諸国で最も大きな教育機関の一つです。8 つの学部と 40 以上の学科をもつ総合大学であるため、自分の興味・関心に合わせて様々な学問分野が学べます。

私の留学のきっかけは、社会福祉先進国と呼ばれる国々がいかに特別支援教育システムを構築していったのかに興味を抱いたことです。近年、日本ではインクルーシブ教育が展開され、個別の教育ニーズのある子どもたちが十分な教育を受けられるように、多様な学びの場を保障することや合理的配慮を行うこと等の必要性が提起されています。しかし、実際の教育現場においては多くの課題があるのは周知の通りです。

スウェーデンにおける教育の特徴の一つに、全ての子どもに「個のニーズに応じた教育」を保障するという基本原則があります。私はスウェーデンの教育を支える文化的・社会的要因について深く考察することで、日本で顕在化している諸課題を解決する糸口が見出せるのではないかと考えました。また実際の教育現場を訪れ体験的に学ぶことは、教育に対する新たな価値観や知見を形成するきっかけになり、今後の研究活動にも活かせるのではないかと考えました。

大学生活について

大学では主に教育に関する学部生対象の授業を受講しました。留学生用の授業は英語で開設されていましたが、とりわけ印象的だったのは“*The School System in a Comparative Perspective*”という授業です。スウェーデンの教育制度を学ぶと同時に留学生が各国の教育制度について紹介、ディスカッションをする場面があったので、アクティブに様々な国の教育について学ぶことができました。また興味のある学校へ訪問する機会もあったため、私は高校生段階の知的障害の子どもたちが通う学校を視察することができました。スウェーデンの特別支援学校については、留学前から学術論文等で理解を進めていましたが、実際に現地の学校を訪問して体験的に学べたことは、自分のこれまでの学びをより深める上で非常に有意義なものとなりました。

スウェーデンの大学は日本の大学のような授業スタイルとは少々異なっています。コースによっても多少異なりますが、私が受講したコースは一コマ 3 時間で週に 2、3 回ありました。1、2 ヶ月でそのコースを取り終える形です。そのため平日の中で授業がない曜日もありましたが、次の授業のディスカッション等で必要となるリテラチャーやグループワー

ク等の課題が出されるため、授業がない日でも図書館に行って課題に向き合うことが多かったです。ディスカッションやプレゼンテーションでは、客観的且つ批判的にトピックについて考察することが求められました。

他には、ヨテボリ日本人補習校 (<http://www.jsgbg.se/>) でボランティアを経験しました。補習校には幼稚園から中学校1年生まで

います。子どもたちは平日、現地校に通っていますが、金曜日の午後16時半から18時半まで補習校で学んでいます(月に1回、土曜日の午前中もありました)。補習校は、日本人学校と違い、主に日本語、日本文化、日本の習慣などになじむために設けられている学習の場です。同じ教室には、日本語を母語とする子どもたちだけでなく、スウェーデン語を母語とする子どもたちも学んでいたため、声掛け等のサポート方法に工夫が必要でした。子どもたちが楽しく且つ分かりやすく学べる環境を整えるためにはどうしたらよいか等、先生たちと話し合いながら取り組むことができました。



スウェーデン留学で得たもの

スウェーデン国内には様々なナショナルリティー、文化、宗教、ジェンダーをもった人々が生活しています。文部科学省は“共生社会”を“誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会”と定義していますが、スウェーデン社会はまさしく日本が目指す社会の在り方ではないかと思いました。当然、課題や問題点もあるとのことですが、人間の多様性を尊重する社会の在り方は、共生社会を目指す日本に生きる私たち一人ひとりが考えていかなければならないトピックなのではないかと思います。

留学中はたくさんの“カッコいい人”たちに出会いました。“カッコいい人”とは、信念をもって自分を磨き続けている人です。友人とは留学後も頻繁に連絡を取り合っています。他愛のない話で笑い合える友人、同じ研究テーマについて情報を交換したり熱く語り合ったりできる友人、留学中に会った全員が私にとってかけがいのない存在です。

私は今後、博士課程への進学を志望しています。ヨテボリ大学への進学がなければ博士課程への進学を考えることはなかったと思います。まずはスウェーデンで学んだことを学術論文等で発表できたらと思っています。また、世界中の特別支援教育について学ぶ友人と協力しつつ、研究を進めることができたらと考えています。スウェーデン留学は、私の人生を豊かにしてくれました。

